平成 31 年 4 月 23 日

会長就任のご挨拶

一般社団法人 東京ビルヂング協会
会長　　木村　恵司

会長就任にあたり、ご挨拶申し上げます。

4 月 23 日定時総会と理事会におきまして、東京ビルヂング協会の会長を拝命いたしました。

８０年の歴史と伝統のある協会の会長に就任することとなり、改めて身の引き締まる思いで一杯です。髙木茂・前会長には２期４年にわたり東京協会の活動にご尽力いただき、誠に有難うございました。諸先輩や会員の皆さまが長年にわたって築いてこられた実績を踏まえ、これからもビル事業の発展とビル業界の振興に努め、ビルオーナー唯一の団体に寄せられている期待と信頼に応えていく所存です。

オフィスビルは、企業の知的生産やイノベーションを支える「経済インフラ」として、また都市の魅力ある景観を形成し、都市の防災機能を担う「都市インフラ」としての重要な役割を果たしています。国際的な都市間競争が激化している中、オフィスビルとしての機能や役割をますます高めていかなければなりません。また、働き方がこれまで以上に高度化・多様化していく中で、オフィスビルのハードとソフトのあり方もより一層進化していかなければなりません。会員の皆さまの英知とノウハウを結集しながら、新たな時代に対応していきたいと考えております。

まもなく平成が終わり、令和という新しい時代が始まります。東京ビルヂング協会も８０周年を迎え、これから９０年、１００年と、未来に向かって新たな歴史を刻んでいきたいと考えています。会員の皆さまには、これまでにも増してご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、ご参集の皆さまのご健勝を祈念して、私からの挨拶とさせていただきます。